



西洋絵画400年の旅
 一珠玉の東京富士美術館コレクション

と き / 3月20日(金)～5月24日(日) 10:00AM～6:00PM
 ところ / 京都市京セラ美術館 本館北回廊1F (5/4以外の月曜休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4334

1983年に東京都八王子市に開設した東京富士美術館所蔵の西洋絵画コレクションは、16世紀のイタリア・ルネサンスから20世紀の近現代美術までを網羅し、国内屈指の充実度を誇る。本展では同館の所蔵品から選りすぐられた80点あまりの西洋絵画を展覧している。西洋では伝統的に神話画や宗教画が高尚な絵画ジャンルとして重視されたが、近代になると斬新な絵画主題の開拓や、造形表現そのものの革新へと画家たちの関心が移っていった。モネ、ルノワール、ゴッホ、シャガールといった人気画家のほか、ティントレット、ヴァン・ダイク、クロード・ロランらオールドマスターの名画を通して、西洋絵画400年の歴史が堪能できる。



ジャック＝ルイ・ダヴィッドの工房
 《サン＝ベルナル峠を越えるボナバルト》
 1805年 油彩・カンヴァス



アントニー・ヴァン・ダイク
 《ベッドフォード伯爵夫人 アン・カーの肖像》
 1639年 油彩・カンヴァス

モダン都市生活と竹久夢二ー川西英コレクション

と き / 3月28日(土)～6月21日(日) 10:00AM～6:00PM
 ところ / 京都国立近代美術館 (5月4日以外の月曜休館) 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111



川西英《曲馬団》
 1929(昭和4)年(木版画)

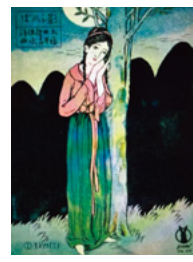
2024年に生誕140年と没後90年を迎えた竹久夢二。今や近代日本美術史上の巨匠としての評価はゆるぎないものとなり、各地で回顧展が開催されている。しかし大正・昭和期の少年少女や美術愛好家たち、青年芸術家たちにとっては、巨匠というよりももっと身近な、イラストレーターであり、デザイナーだったことだろう。生前に発売された絵葉書や封筒、千代紙、風呂敷など多彩なグッズの数々がそのことを物語っている。



竹久夢二
 《港屋絵草紙店》
 1914(大正3)年



竹久夢二
 《セノオ楽譜NO.44 蘭燈》
 1917(大正6)年



竹久夢二
 《セノオ楽譜NO.169 影ふめば》
 1920(大正9)年

神戸で活躍した創作版画家の川西英(1894-1965)も夢二の絵と詩に魅了された一人で、彼が収集した膨大な版画コレクションの3分の1以上が夢二の版画・書籍・グッズなどで占められていた。その膨大なコレクションが京近美に収集・寄贈され始め20年近くなる。今回1100点を越える全ての資料類の中から竹久夢二関係の作品や資料類が整理されて初公開されることになった。本展では、大正期のモダンな大衆文化時代のスターとして幅広い人々に親しまれた夢二の作品を中心に、夢二に憧れた川西英や恩地孝四郎をはじめとする昭和期の画家・版画家たちが描き出した都市生活やモダンな景観、そして前衛と遊びの世界が一堂に楽しめることとなった。



恩地孝四郎《失題》
 1913(大正2)年(木版画)

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1			
		水	木	金	土	④	月	火	水	木	金	土	④	月	火	水	木	金	土	④	月	火	水	木	金	土	④	月	火	④	水	金			
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	雛人形名品展															令和8年度新指定 国宝・重要文化財																		
		近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝15 春をこぼく																																	
	3F																原安三郎コレクション 北斎×広重																		
	4F																																		
	5F	2026 写人展					瓜生山墨の會 「百花繚亂」 其の参					第52回 京都春季創画展					花の源氏物語展 ← 井上希美枝 素描花友禅展 第50回 日本画春季光支展 第38回風會 展 ← -能面・狂言面- 二人展 ← 次世代へのプロローグ																		
		第61回青葙社展 二十七回足追善 殿村藍田展 併催 浮羽ひろみ写真展																																	
6F	《予告》令和8年度 春期 京都非公開文化財特別公開 「葵祭 斎王行列の衣装と皇室ゆかりの名品展(第二章)」															→5/6																			
別館	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会							ふろしき SDGs LIFE 2026																								
京都学・歴史館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	京都学ラウンジパネル展「深草アーカイブ『未来へ紡ぐ深草の記憶』」																																		

会場		日曜	1水	2木	3金	4土	5土	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12土	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19土	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26土	27月	28火	29水	30木	5/1金
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	3F	モダン都市生活と竹久夢二-川西英コレクション																												→6/21			
	4F	2026年度 第1回コレクション展																												→6/21			
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151															特別展 北野天神 前期展示：2026年4月18日(土)～5月17日(日) 後期展示：2026年5月19日(火)～6月14日(日) ※会期中、一部の作品は上記以外にも展示替または巻替を行います。														→6/14				
	京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334	本館	コレクション春期 特集「没後20年 井田照一」																												→6/21		
西洋絵画400年の旅-珠玉の東京富士美術館コレクション																												→5/24					
大どろぼうの家																												→6/14					
KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2026																												→5/17					
東山キユーブ	日本画アヴァンギャルド KYOTO 1948-1970 前期：2/7～3/1 中期：3/3～4/5 後期：4/7～5/6																												→5/6				
	別館 1F	公募第5回記念 大潮友彩展	第67回 京都写真連盟写真展				第2回雄峰書展 (古稀記念)				第49回 日本染織作家展				芋芭蕉衣と芋ジョーキ ～芭蕉布織物工房の しごと～				→5/2														
	別館 2F	版画の博覧会 @京都				京都二紀展				石虎から見る中国現代美術																→5/2							
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	汎具象春季展 (洋画)								第57回新協京都展 (美総合)				自由美術京都作家展 (美総合)				→5/2															
	2F									東耀会展 (書)				→5/2																			
	3F																													→5/2			
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	展示替えのため休館														〈開館60周年記念〉特別企画展 第2回現代作家展「竹内浩一 風が迎えて」														→6/7				
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	About time Sarah Moon 展 サラ・ムーン (祝日以外の月曜)																												→5/10				
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	福島一二三展 -生なる「相」-				第55回 日本伝統工芸近畿展 開催記念 日本工芸会近畿支部 選抜展				-いしの耀き- ゴジラの好敵手モスラ も描いた 村上裕二 日本画展				SINCE vol.V				額装 -とある作り 手のしごと-				→5/4											
		襲名記念 指物師裕軒 五代 岩木秀彦展												若杉聖子展 ～舟の道～				伊豆蔵幸治 作陶展				→5/4											
	美術工芸 サロン	近藤裕久 作陶展				宮川浩一 作陶展				萩原由希子 陶展				十川賀菜子 ガラス展				内海紗英子 漆芸展				→5/4											
大丸 中京区四条高倉 050-1790-3000	画廊	～俊英作家による日本画展～ 一期一絵				春の近現代絵画展				中西翔哉展 Awakening-目覚めの予感-				輝きだす美しき景色を 本田 翔展				コンノヒロコ 絵画展				→5/5											
アート サロン	おかもととお絵画展 すてきな日々と夢				松崎勝美 石の想守展 Omamori of stone				初瀬博輝 日本画展 平面の放浪				第5回 真砂美塾展				ESPACÉ 絵画 コレクション				→5/5												
ミュージアム																													→5/5				
中信美術館 上京区下立売池小路東入 417-2323	4月は休館いたします(展覧会なし)																												→5/5				
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	冬季 休館	春季特別展「並河七宝の審美-貴き技と心-」 (月曜・木曜休館)																												→7/20			
泉屋博古館 左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24 771-6411	文化財よ、永遠に2026 (次代につなぐ技とひと)														ブロンズギャラリー 中国青銅器の時代《休館日：月曜日、臨時休館 4月24日(金)・5月8日(金)》														→6/28				
美術館「えき」KYOTO 京都駅ビル京都伊勢丹7F隣接 352-1111	Ukiyo-e猫百科 ごろごろまるまるネコづくし The World of Ukiyo-e Cats : Purrfectly Curled up Neko																												→7/31				
美術館「えき」KYOTO	Ukiyo-e猫百科 ごろごろまるまるネコづくし The World of Ukiyo-e Cats : Purrfectly Curled up Neko																												→5/10				
会場		日曜	1水	2木	3金	4土	5土	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12土	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19土	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26土	27月	28火	29水	30木	5/1金
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	山田喜代春木版画展 (月曜休廊)														浅井敬二個展														→5/10				
	ARTES ELYSION 中京区姉小路通寺町西入 600-0469	【金の系譜】日本画展 中野貴文×御守未来 (4/1休)				【花の宴】2026 後期				【著の魔法】桜井敬史日本画展 (4/20、22、27お休み)																→5/10							
アートスペース柚(ゆう) 東山区二条通東山西入 090-6916-5353	TAMAMI HORII 洋画展 (月曜休廊)				INOUEKE EXHIBITION 2026 (月曜休廊)																→5/10												
アートスポット櫻奏 東山区八坂通大和丸大丸東入 090-3945-7492	常設展 (見学にお越しの際は立松まで (090-3945-7492) ご予約をお願いします。)																												→5/10				
Art Space 癒心庵 長岡京市今里畔町24-8 951-2788	「雲龍庵と希龍舎展」 開館日：毎週火・金曜日 (祝日は休館・完全予約制) 時間 【10:00～16:00】 午前・午後 各一組4名まで予約の受付時間 【9:00～15:30】																												→5/10				
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787	American Porcelain Painting&Craft				手作り展																→5/10												
イラストギャラリー・トララ 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805	常設展																												→5/10				

企：企画および常設を中心に活動する画廊 貸：貸画廊

パンリアル美術協会の心柱、京都日本画アヴァンギャルドの騎手 と き／4月11日(土)～5月2日(土) 10:30AM～6:00PM

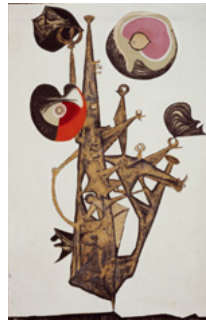
三上誠の生涯と作品

ところ／星野画廊 (毎月曜と4/19(日)休廊)

京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

1919(大正8)年大阪に生まれた三上誠は青年期を過ごした福井の中学校時代に肋膜炎を患い、のちに肺結核と診断された。戦後、京都絵画専門学校(現京都市芸大)卒業後1948(昭和23)年に、同校日本画科の同志に呼びかけて前衛絵画集団「パンリアル美術協会」を結成したものの、病魔が進み、33歳の時に肺結核で肋骨11本を取るという胸部の大手術に耐えた。3年の療養後、画業を再開した三上は旧来の日本画材に囚われず、縄やセメント、板切れなども積極的に取り入れた意欲作に取り組んだ。やがて内臓を抉り取ったかのような特異な作品群を生み出し、段ボールや輪切りの木片をコラージュしたものへと変化。病魔と治療の激痛と副作用に耐えるために処した東洋医学の灸さえも「灸天万華鏡」などの作品へと昇華させた。痛みそのものを客体化し、病魔の巣食った内臓を整然と図式化したような作品へと変貌させた。没する直前には清明な凍結の生理シリーズに達し、闘病人生の到達点を素晴らしい芸術作品に仕上げた。1972(昭和37)年没、享年52。

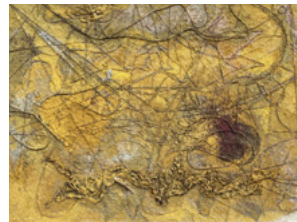
戦後の京都日本画アヴァンギャルドの旗手である。



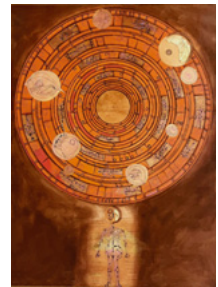
《モニュマンと花》1957年
第15回パンリアル展 92.5×60.5cm
紙に膠彩、インク



《断層化石》1956年
第14回パンリアル展
91.2×120.5cm 紙に蠟、紐、
板などのコラージュ、膠彩



《機構の生理C 窓A》1970年
第27回パンリアル展
121.5×91.0cm 紙に石膏、
インク、膠彩



《灸点万華鏡》1966年
150.4×110.0cm
紙に和紙コラージュ、
膠彩

大野 倣嵩

Ohno Hidetaka 2026

と き／4月15日(水)～4月26日(日) 12:00～6:00PM

ところ／ギャラリー三条祇園(4/20休廊) 京都市中京区寺町通御池上ル
上本能寺前町484 トミタヤビル2F ☎075-221-6401

「いままでになかった作品を描きたい」

大野倣嵩(1922-2002)のパンリアル時代の作品が、京都市京セラ美術館で開催中の「日本画アヴァンギャルド展」で展示されています。まさに「日本画アヴァンギャルド」といった赤が強烈なインパクトを与えるドンゴロスの作品は、メインビジュアルとしてポスター等に起用され、記憶にのこっている人も多いと思います。大野倣嵩は、パンリアル時代の作品から、ドンゴロスの作品、墨の作品と「今までになかった作品を描きたい」という思いのままにさまざまに画風を変えながら、最終的には緻密で静謐な「花」へとたどり着きます。そして大野倣嵩の最高到達点である「華巖」へと。赤のドンゴロスだけでない多様に変化する大野倣嵩の作品世界をこの機会にぜひご高覧ください。



大野倣嵩《緑青》
1961年137×122cm
素材：麻布・綿布・岩絵具

大野 倣嵩 (おおの ひでたか)

- 1922 京都市に生まれる。
- 1943 京都市立絵画専門学校(現京都市芸大)卒業
- 1949-58 パンリアル美術協会展に参加出品
※キュビズム、シュールレアリスムに影響をうけた作品を発表
- 1958 アジア、アフリカ美術展でコプト織をみて感銘を受ける
※ドンゴロス(麻袋)を用いた作品を発表
- 1961 プリマス画廊(ロサンゼルス)にて個展
日本現代美術展覧会(ベルリン)
- 1970 京都市立芸術大学助教授に就任(73年教授、87年退官、名誉教授)
- 1971 ※この頃より「花」をモチーフとした精緻な作品を制作
- 1974 京都三条祇園画廊にて個展
- 1979 京都画壇100年の名作展-伝統と創造(京都市美術館)
「現代日本画展」(北京他中国巡回)
- 1982 「大野倣嵩画集-花に祈る」出版
- 1986 アーバン・アートリサーチセンター(ニューヨーク)で個展
- 1989 「物質から華へ」O美術館個展(東京)
- 2002 京都府文化功労賞受賞、京都府文化賞特別功労賞受賞
逝去



大野倣嵩《Untitled》
1963年 67×57.5cm
素材：麻布・綿布・岩絵具



大野倣嵩《華巖》
1987年 100×80.3cm
素材：綿布・顔料

[今月の展覧会より]

ヨルク・シュマイサー銅版画展 「文字の中の絵／絵の中の文字」

と き／4月17日(金)～5月3日(日) 1:00PM～6:00PM
ところ／ギャラリー宮脇 (4/22のみ休)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

卓越した銅版画家として国際的に知られるヨルク・シュマイサー (1942-2012) は、世界各地を旅し、風景や自然、生物、植物、遺跡、建造物、街並みなど、壮大なものから微小なものまで〈世界〉を精緻に写し取ってきた。

その作品の中に「日記シリーズ」と呼ばれる一群がある。画面の一定部分を細かな文字がびっしりと埋める作品だ。主にドイツ語の手書き文字で刻まれたそれを読み進めることは容易でなく、日本人に限らず通読した者はほとんどいないと思われる。今回その文の読解に挑んだ。そこには日常の記憶や旅先での体験、〈世界〉に開いた版画家の感性が率直に綴られ、ときに文学的な叙述として記されていることが分かった。画中日記は、読むテキストであると同時に、風景や貝殻や街並みと同じく画面に置かれた視覚的イメージでもある。

本展は、この「文字の中の絵／絵の中の文字」という関係から、文字とイメージが交差するシュマイサーの創造の核心を考察する世界初の試みである。



《旅路の年：塔と顔》47.5×62cm
1991



《日記とハンブルク》49×63.5cm
1983



《日記とアンコール》49×59cm
2007

★オープニングイベント：池澤夏樹講演会「文字の中の絵／絵の中の文字」
+レセプション【予約制・定員40名申込み先着順・参加費2,000円】

レトロポップの世界 「My Pop Music」－立松功至

と き／4月24日(金)～5月10日(日) 12:00～6:00PM
ところ／ギャラリー白川 (休廊：4/27、28、5/7(木) *GW期間中の月火は開廊)
京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

子供が初めてアートに触れるときのような、純粋な気持ちで「色・形・構図」を楽しむこと。それが私の制作の原点です。白く無垢な生地に、染色ペンと蠟(ろう)染めを織り交ぜて染める。私にとってそれは、一曲の「POPソング」を紡ぐような時間です。複雑なものを「やさしく」、日常の断片を「おもしろく」表現することを大切にしています。生地の上で即興的に引かれた線、響き合う色彩、そして遊び心あふれる構成。音楽を聴いて身体を揺らすように、自由なイメージを膨らませて鑑賞していただけたら幸いです。私が楽しく染め上げた世界が、皆さんの日常に心地よいメロディーとなって届くことを願っています。

(立松功至)

2006 京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻 修了。

2019 「日展」特選受賞。

ギャラリー白川では、2024年「二人展、新しい風」で紹介。ポップで明るい春の訪れを感じさせる作品です。どうぞ、ご高覧くださいませ。



「Find U Again」ミクストメディア
H145×155cm 2019 (部分)



「What It Sounds Like」ミクストメディア
H145×155cm 2026 (部分)



「The Night Sings Free」ミクストメディア
H36/4×51.5cm (部分)

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1			
				水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			
貸	芸 草 堂 画 廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																			
企	絵 草 子 東山区新門前通東山西 551-9137	浮世絵・木版画、新版画常設																																			
企	延寿堂ギャラリーソフォア 中京区二条寺町東入ル 211-5552	杉江智 クリスタルガラスの器展 (硝子)												金田萌永展 (陶)																							
企	御 池 画 廊 北区小北北上総町20-2 492-3083	常設展																																			
企	画 廊 た づ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展 (土・日・祝休廊)																																			
貸	ざおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	「たけの世界展」 原画・ポストカード・色紙・小冊子 他 表現画廊 河村武明						水墨画・石仏の観音 墨彩画展 黒岩豊隆						銅版画・イラスト展 にゃんころりんず 木村友美						絵画展 坂本真美						染め彩々 手描ローケツ染 藍染展 越智由利											
企	喜聞堂アートスペース余花庵 中京区寺町通御池上ル 212-9793	寺沢京秀 人形展 -市松人形・創作人形-						龍村周 錦織展						岡本英樹 個展 和とフォーヴィスムの 共演						喜聞堂 屏風絵・古美術 常設展																	
貸	ギャラリーM 中京区錦薬師高倉西 221-0979	桜と春旅展 (ベネチア・神戸) 松本祐佳																																			
貸	ギャラリー花友じゅらくだい 上京区智恵光院中立売上ル 451-6005	ロシア・ウクライナ出身画家作品展 (貸画廊受付中)																																			
貸	ギャラリー祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828	ランディ・ソシエテ展						第29回 染めと織 in紙園						ボタニカルアート 作品展						絵画と パートドヴェールガラス工芸 三人展						平尾隆史・高橋明 写真展											
貸	ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	日本画教室 第13回楽人衆展						第5回 高津画友会展						第27回 宮本絵画教室作品展																							
貸	ギャラリー Create洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898	山尾 才 個展 (洋画)						小濱節子展 (洋画)						佐々木経二 日本画展						田中利一 日本画展						コスゲカズコ 展 (洋画)											
貸	ギャラリー恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F 休廊		坂爪厚生展 (銅版画) (月曜休廊)						-明日に架ける 版表現 Vol.2- 河野孝博 (銅版画): 1F 漢瀧 (木口木版): 東京子 (木版画): 2F						休廊						南風にのって (平面) 上村菜々子・佐竹龍蔵・ 竹内義博・田中愛子 (月曜休廊)															
貸	ギャラリー胡々湾 東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460	綺羅展 (日本画) それぞれの煌めき						染衣彫銀 (染衣と彫金)						京くみひも・私の歩み ~故大林芳雄先生の教え~						韓の美・京に咲く- 韓国工芸展2026						池見悠信展 (日本画)											
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1			
				水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			
貸	ギャラリー佐野 中京区寺町錦薬師西北角 221-2767	貸ギャラリー受付																																			
企	ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401	大野倣嵩 Ohno Hidetaka 2026 (4/20休廊)																																			
企	ギャラリー白川 東山安井東一筋日南 532-2616	レトロポップの世界 「My POP Music」 -立松功至 (4/27, 4/28, 5/7休廊)																																			
貸	ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	倉智敬子+高橋悟展 (月曜休廊) 「Topogram of Memory - 呼吸の住処」 (インスタレーション)						谷井ひろ子個展 -それぞれの時間軸- (フォトコラージュ) (KG+参加/会期中無休)						潜在空間に生息する 昆虫園鑑 三宅章介 (KG+参加)																							
貸	ギャラリーSpace妙 左京区松ヶ崎崎町1-1 090-6605-0656	貸しギャラリー受付中																																			
企	ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522	日本画・洋画・古書画常設展																																			
企	ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	日本画・洋画・古書画常設展																																			
貸	ギャラリー富小路 下京区富小路綾小路下ル 090-7095-0576	休廊																																			
企	ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632	Breeze (絵画グループ展) (月曜休廊)																																			
貸	gallery 春と修羅 中京区東川通寺町東入 070-9018-7490	常設展 (貸画廊受付中)																																			
企	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427	白崎信子ガラス作品常設展																																			

【他所で見たい展覧会】

- 「河井寛次郎、濱田庄司、共鳴」展：3月20日(祝)~9月6日(日) アサヒグループ大山崎山荘美術館 (京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3 ☎075-957-3123)
- 「志村ふくみ百一寿夢の浮橋」展：3月3日(土)~5月31日(日) 細見美術館 (京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 ☎075-752-5555)
- 「昭和100年記念、あの頃は〜栖鳳・魁夷・又造らが起こした昭和の風〜」展：1月31日(土)~4月12日(日) 福田美術館 (京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16 ☎075-863-0606)
- 「没後50年・高島野十郎展」：3月25日(土)~5月6日(日) 大阪中之島美術館 (大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)
- 「小泉八雲一怪談とフォークリストのまなざし」展：4月11日(土)~6月8日(日) 大阪歴史博物館 (大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-4301-7285)
- 「中西夏之、没後10年の回顧展」：3月14日(土)~6月14日(日) 国立国際美術館 (大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)
- 「妙心寺、禅の継承」展：2月7日(土)~4月5日(日) 大阪市立美術館 (大阪市天王寺区茶臼山町1-82 ☎06-4301-7285)
- 「ブルックリン博物館所蔵、特別展 古代エジプト」展：3月20日(金)~6月14日(日) あべのハルカス美術館 (大阪市阿倍野区天王寺駅すぐ ☎06-4399-9050)
- 「アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦」展：3月25日(水)~5月6日(日) 兵庫県立美術館 (神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 ☎078-262-1011)
- 「MOCOコレクション オムニバス」展：4月11日(土)~8月2日(日) 大阪市立東洋陶磁美術館 (大阪市北区中之島1-1-26 ☎06-6233-0055)
- 「ためて、みる」展：4月17日(金)~6月21日(日) 滋賀県立美術館 (大津市瀬田南大萱町1740-1 ☎077-543-2111)
- 「万博のレガシー 解体と再生、未完の行為を考える」展：2月14日(土)~5月6日(水) 和歌山県立近代美術館 (和歌山市吹上1-14-4 ☎073-436-8690)
- 「スウェーデン・テキスタイル、北欧デザイン」展：4月4日(土)~6月28日(日) 西宮市大谷記念美術館 (西宮市中浜町4-38 ☎0798-33-0164)
- 「生誕100年・榊真山展」：4月4日(土)~5月31日(日) 三重県立美術館 (三重県津市大谷町11 ☎059-227-2100)

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1		
		水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	②	木	金		
④ ④ ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	岩田百子展 (油彩) (行動美術協会会員)		山河全展 墨に遊ばれる		暮らしの工芸 現代展 (現代工芸近畿会 会員有志)		田島征彦 新作絵本 (月曜休廊) 「ガージュー先生 対馬丸事件を生き抜いた少女の物語」 原画と新造型絵染作品展		甲斐扶佐義 写真展 ほんやらはん の道草																		→5/3						
	奥庭 空間	楠井沙耶 個展 かかる木 Saya KUSUI Solo Exhibition: The Leaning tree (月曜休廊、日曜17時まで)																→6/14																
④ ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展 (月曜休廊)																																	
④ ④ ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	載雨亭		斐貞順 (ファイバー) (月曜休)																		→5/10												
	4F	山下鴻峰 (陶・インスタレーション)		Christopher Pelham (写真) (月曜休)																→5/10														
	5F	載雨子 (陶芸)		渡部慶二郎 (金工) 月曜休																														
④ ④ ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町665 080-1155-0710	RYU展 dragon exhibition Eiichi Shioya																																	
④ ④ ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	松永恵子 墨彩画展		笠井季美展 心の彩		琉球藍染工房 コレクション		第3回 あきしの絵・酒・食 うつわ展		工藤和彦 うつわ展 (月曜休廊)																		→5/17							
④ ④ ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「坂本龍馬と酢屋」常設展																																	
④ ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展 (水曜・日曜休廊)																																	
④ ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	ヨルク・シュマイサー 銅版画展 (4/22休廊) 「文字の中の絵 / 絵の中の文字」																→5/3																	
④ ④ ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	常設展																																	
④ ④ 京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸画廊受付中																																	
④ 京都市芸大ギャラリー@KCJA 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟1階 585-2010	2026年2月16日(月)より5月15日(金)までメンテナンス・次回展準備のため休館いたします。																																	→5/15
④ 京都市立芸術大学資料館 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟1階 585-2010																																		
④ 京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000	FOCUS# 6 澤田華個展「まめによそ見する足」																																	→5/17
④ 京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	京都市の幼児教育150年 - 京都市の幼稚園の過去と現在、そして未来 (水曜休館)																																	→5/10
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1		
会場	日曜	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	②	木	金		
④ 京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F [月]	清永英雄 「花神」												清永英雄 写真展																				
	2F [花]	鈴木拓哉写真展		Yuri SEKI 個展 「wonder land」		齋藤陽道、澄毅 「The Insight of Being」																→5/3												
④ 京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	京焼作品常設展																																
	2F	西川光男陶展 ～SHIGARAKI “土と炎”		清水焼団地組合展 組合創立65周年記念		櫻井靖子 白の造形展																→5/6												
④ ④ 京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	NHK文化センター 植物画教室展		のぞくを楽しむ展 (ミュージアム展示室) (月曜休)																															
④ ④ 堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	コーヒー のお話 →		休廊		絵本「土のうの道」 原画展		平和文庫展		休廊																→5/6									
④ 大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展 (10:00AM～6:00PM、土・日・祝は休廊)																																	
④ 玉山名史刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展 / 美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																																	
④ 梅軒画廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510	福田季生展 - 春爛漫 -																日本画・洋画 常設展																	
④ ④ ビニールテープ(旧後素堂) 中京区新町丸太町下ル 231-0938	画廊企画の常設展																																	
④ 星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和名作発掘品展 (日・月休廊)		パンリアル美術協会の心柱・京都日本画アヴァンギャルドの旗手 三上誠の生涯と作品 (毎月曜と4/19(日)休廊)																→5/2															

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当連合会のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>